

【様式第1別紙1-5】設備

様式を間違えないこと。

廃熱・湧水等の未利用資源の効率的活用による低炭素社会システム整備推進事業  
実施計画書（設備の高効率化改修を行う事業）

GAJ事業番号：  
217XXXX  
内示書に記載のGAJ事業番号を記入すること。

事業名		○○○○○空調設備の高効率化改修を行う事業				
代表事業者	団体概要	団体名	△△県○○市立病院			記入例は青文字となっていますが黒文字にて記入すること。
		法人番号（半角）	XXXXXXXXXXXX			13ケタの法人番号を記入すること。
		所在地	〒XXX-XXXX	△△県○○市丸の内1-1		日本産業分類コードを記入すること。
		主な業務内容	地域医療・介護・保健・福祉		産業分類	831
		事業実施責任者・役職	注) 団体の代表権を付与された者で、申請者と同一であること 院長 □□ 太郎			
	事務連絡先	資本金	注) 民間企業の場合のみ記入 事業実施責任者は交付申請書の申請者と同一にすること。 役職は記入漏れの無いよう必ず記入すること。 また、様式1に記載の役職名と同一にすること。 例えば、代表取締役社長、代表取締役、取締役社長等や院長、理事長、理事等			
		部署				
		役職	事務長			
		氏名	△△ 次郎	フリガナ	×× ジロウ	
		勤務先住所	〒XXX-XXXX	△△県○○市丸の内1-1		
共同事業者	電話番号	XX-XXXX-XXXX	FAX番号	XX-XXXX-XXYY		
	E-mail	XXXXXX@XXX.XX.jp				
	団体名	事業実施責任者				
	法人番号（半角）	氏名	所属部署・役職	電話番号	E-mail	
事業実施場所等		注) 事業実施場所名を記入する。また、異なる区画・異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、各施設の関連性を記入する。 △△県○○市立病院				
区画住所		△△県○○市丸の内1-1				
施設概要	<名称・主な業務内容> △△県○○市立病院：地域医療・介護・保健・福祉		建物用途区分	08260		
	対策名称	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類	A01	
		交換	空調ファン用電動機 の交換		「対策の名称」のみを記入すること。 対策個票・交換の「対策の名称」と同一にすること。	
追加	空調台数制御部品 の追加					
施設概要	<名称・主な業務内容> 注) 同施設の中で、複数設備の部品交換等を申し込む場合には、必要に応じて行を追加すること。		建物用途区分	「対策の名称」のみを記入すること。 対策個票・追加の「対策の名称」と同一にすること。		
	対策名称	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類		
		交換				
追加						
区画住所		注) 隣接・近隣区画にある異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、必要に応じて行を追加すること。				
施設概要	<名称・主な業務内容>		建物用途区分			
	対策名称	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類		
		交換				
追加						







【様式第1別紙2-5】設備

GAJ事業番号：

217XXXX

廃熱・湧水等の未利用資源の効率的活用による低炭素社会システム整備推進事業  
(設備の高効率化改修を行う事業)

経費内訳

内示書に記載のGAJ事業番号を記入すること。

	(1) 総事業費 補助対象外を含む金額を記入すること。	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
所要経費	6,637,869 円	0 円	6,637,869 円	6,373,889 円
	(5) 基準額 内示書の基準額を記入すること。	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7)×補助率
	6,373,889 円	6,373,889 円	6,373,889 円	3,186,000 円

補助対象経費支出予定額内訳

1000円未満の端数は切り捨てること。

経費区分・費目・細分	金額(円)	積算内訳	資料番号
工事費	経費区分・費目・細分に 従って、各細分ごとにまと めて記入すること。	金額の算出根拠が明確になるよ うに詳細に記入し、見積書等と 対比できるようにすること。	* 見積書との照合番号
本工事費			
材料費	1,792,889		
交付規程『別表第2』の経費区 分・費目・細分に従って記入す ること。		762,889 ファン用電動機等 1,030,000 台数制御部品	<1> <2>
			見積書中の番号と一致させること。
労務費	2,086,000		
		1,985,000 ファン用電動機等の交換 101,000 台数制御部品取付	<3> <4>
現場管理費	570,000		
		530,000 ファン用電動機等の交換 40,000 台数制御部品取付	<5> <6>
一般管理費	665,000		
		600,000 ファン用電動機等の交換 65,000 台数制御部品取付	<7> <8>
測量及び試験費	1,260,000		
		1,110,000 ファン用電動機等の交換 150,000 台数制御部品取付	<9> <10>
合計	6,373,889		

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名称	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	購入予定時期
ファン用電動機等	冷房/暖房能力 590kW	1	4,987,889	4,987,889	H29年11月
台数制御部品	台数制御部品	1	1,386,000	1,386,000	H29年11月
	この金額は設備単品の材料費のみでなく労務費、現場管理費、一般管理費、測量及び試験費等を含む金額にすること。				

注1 本内訳に、積算の根拠を示す見積書または計算書等を添付する。

注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。

設備

■日本標準産業分類コード

「数字3桁」を記入する。

例)病院 ⇒ 831

■建築基準法:建築物用途区分コード

「数字5桁」を記入する。

例)病院 ⇒ 08260

■設備の種類分類コード表

「アルファベット1文字と数字2桁」を記入する。

例)換気設備 ⇒ B01

ここを転記する。



大分類		中分類	
A	空気調和設備	A01	空調熱源設備・システム
		A02	空気調和設備の搬送機
		A03	その他
B	換気設備	B01	換気設備
		B02	その他
C	給湯設備	C01	給湯熱源設備・システム
		C02	熱媒体輸送管
		C03	その他
D	冷蔵・冷凍設備	D01	冷蔵・冷凍設備
		D02	その他
E	ボイラー設備	E01	ボイラー
		E02	ボイラー関連・付属設備
		E03	その他
F	燃焼設備	F01	燃焼設備
		F02	その他
G	熱利用設備	G01	熱回収設備
		G02	熱交換器
		G03	蒸留塔
		G04	加熱設備
		G05	蓄熱装置
		G06	廃熱回収設備
		G07	熱媒体輸送管
		G08	その他
H	電気設備	H01	受変電設備
		H02	モーター
		H03	その他
J	その他	J01	その他